

式辞

弥生三月、本日ここに令和七年度青森県立むつ養護学校卒業式を挙行できますことは、この上ない喜びです。小学部三名、中学部五名、高等部七名の卒業生のみなさん、卒業おめでとうございます。

本日ご列席いただきました、本校卒業生と親の会会長 越前 陽悦 様、はまゆり学園 園長 林 美幸様、本校父母と教師の会会長 畑中優子様をはじめとする御来賓のみなさまに教職員を代表して心から感謝を申し上げます。

さて、たった今、みなさんの手に渡った卒業証書。それは、今日までの道のりを、皆さんが確かに歩んできた証です。達成感、喜び、寂しさ、希望、不安・・・今胸にある気持ちをじっくりと味わい、そして、勇気をもって、明日への一歩を踏み出してください。

小学部を卒業する友樹さん、来さん、珠子さん、私は三人の笑顔が大好きです。

六年間学校に通い、毎日笑ったり泣いたりしながら勉強し、こんなに立派になりました。四月からは中学部です。楽しいことや好きなことを、また、たくさん見つけて、夢に向かって、ますます心も体も大きくなってください。

中学部を卒業する妃愛さん、さくらさん、友也さん、玲琥さん、隼翔さん、

中学部では、仲間や先生と一緒に、様々なチャレンジをしてきましたね。中学部での最後の挑戦だった高等部受検も、励まし合いながら乗り越えました。周りの友人や家族へ「ありがとう」と伝えることもできるようになりました。高等部でも、新しい仲間と励まし合いながら、さらなるパワーアップを目指して進んでいきましょう。

そして高等部を卒業するみなさん、

いよいよ卒業です。皆さんと過ごした二年間、その成長は、目を見張るものでした。梗太さん、何事にも一途な頑張りや情熱は幾度も私たちに励ましてくれました。晃さん、優しさ溢れる笑顔で生徒会長として見事にやり抜き、夢に近づきましたね。望さ

ん、爽やかな挨拶に、毎日背筋が伸びました。チャレンジし続けてください。光希さん、周りを楽しく明るく照らしてくれました。たくさんの「むつ養だるま」を、ありがとう。糾都さん、自分で目標を定め、着実に進んできましたね。これまでの努力が、新しい生活を支えてくれます。柊さん、技能検定一級合格、素晴らしい頑張りでした。好きなもの、得意なことをたくさん見つけてください。総一郎さん、この三年間で、多くの先生や友達との関わりをとおして世界が広がり、ほんとうに、たくましくなりましたね。

卒業の日を迎えたみなさんの今日の姿は、学校の誇りです。三年間の経験を自信として、明日からの新たな出会いの中で、あなただけの、たった一つの人生を創って行ってください。

ご列席いただきましたご家族の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。皆様とともに、こども達の成長を見守り、かけがえのない時間を共有できたことは、私たち教職員にとって、何にも代えがたい大きな喜びです。私たちを信頼し、委ねていただいたことに、卒業の日にあたり、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

世界では戦争や争いが絶えません。だからこそ、この時代に巡り合えた者同士が手をつなぎ、労りあい、小さな平和をつないでいきましょう。むつ養護学校は、皆さんの「故郷」です。少し寂しくなった時、疲れたとき、いつでも立ち寄ってください。私たちはこの場所から、皆さんを見守っています。

結びに、十五名の卒業生のみなさんが生きる未来が、社会が、より素晴らしいものとなるよう、先を行く者の一人として、ともに努力し続けることを誓い、式辞といたします。

ご卒業、おめでとうございます。

令和八年三月六日

青森県立むつ養護学校 校長 道合 修子

